

# みゅーず

藤井寺高等学校 図書委員会発行 2020.7.20



今号は、新型コロナウイルスにともなう休校のため、発行が大幅に遅れました。



## 新刊紹介



ノーサイドゲーム 池井戸潤

イマジン? 有川ひろ

陸王 池井戸潤

片耳うさぎ 大崎梢

掟上今日子の挑戦状 (文庫版) 西尾維新

熱源 川越宗一

掟上今日子の遺言書 (文庫版) 西尾維新

保育士になるには

大学学部調べ 経営学部・商学部

大学学部調べ 看護学部・保健医療学部

大学学部調べ 外国語学部

## 推薦図書

### 人間失格 太宰治

「恥の多い人生を送ってきました」の書き出しから始まる太宰治の遺言ともいわれる作品です。主人公の大庭葉蔵は、太宰治自身をモチーフにしており田舎の裕福な家庭に生まれます。しかし、彼には人間の営みというものを理解できずに、「道化」を演じ人を欺きながら生きていきます。そんな葉蔵がさまざまな人間関係により「人間失格」におかされていきます。この作品は、決して明るい作品ではありませんが、彼が考える人間とはなにか、そして、読者にも人間の本质を考えさせられる良い機会になると思います。



推薦者 図書委員



## 「高校生からのゲーム理論」 松井彰彦著

ちくまブリーマー新書

ちょっと想像してみてください。共同で犯罪を犯した二人の人間が逮捕されましたが、警察は十分な証拠を持っていないため、取引を持ちかけます。二人は別室に隔離されており、お互いに相談することはできません。警察からそれぞれに提示された取引内容は次の通りです。

1. 二人とも自白しなければともに一年の禁固刑となる。
2. 一人だけが自白したら、自白した者はすぐに釈放されるが、もう一人は5年の禁固刑となる。
3. 二人とも自白したら、ともに4年の禁固刑となる。

この提案に対して、二人の囚人は「黙秘すべきか」「自白すべきか」という問題に直面することになります。

これは経済学の中の「ゲーム理論」という分野の代表的な例題で、「囚人のジレンマ」という理論なのですが、本書では、このゲーム理論について高校生でも身近な例を用いて解説されています。経済学、なんて聞くと堅苦しい印象を持つかもしれませんが、著者の柔らかい語り口もあって、非常に読みやすいものとなっています。

さて、もしあなたが上記の例の囚人の内の一人なら、自白しますか？それとも黙秘を続けますか？内容が気になった人はぜひ、本書を読んでみてください。

推薦者 国語科 東 浩平先生



## 「第2図書係補佐」 又吉直樹

内容を聞く前にまず読め。読書にはワクワク感が大切だ。

又吉直樹が好きならば面白い。好きでなくとも楽しめる。

約束する。この本なくして次の本たち、「夫婦善哉」「杏子」

「炎上する君」「何もかも憂鬱な夜に」「高円寺純情商店街」

「江戸川乱歩傑作選」「人間失格」「異邦人」には出会わなかった。

読書は出会い。

“本がない世界は、ラクダが針の穴を通るほど、くだらない。”

推薦者 山本 十喜男先生